

2021/3/1

東京都世田谷区玉川 1 - 1 4 - 1

楽天グルムゾンハウス

楽天モバイル株式会社

山田善久社長

わたしたちは電磁波による人体への影響に警鐘を鳴らし続けている住民運動体です。このほど、貴社が埼玉県志木市●●の分譲マンション、■■に設置を予定されている携帯電話基地局について、同マンションに住む会員から苦情が寄せられました。■■には、電磁波に身体が過敏に反応したり、心臓ペースメーカーに及ぼす影響を懸念されている住民が居住されています。従って今回の計画は白紙に戻すようお願い申し上げます。

わたしたちはいたずらに既存の基地局撤去を求める運動体ではありません。体質的な理由で、基地局設置を容認できない住民が支援を求めた場合のみ、人道的な観点から計画見直しを求める運動体です。

志木市のケースでは住民から強い不安の声が上がっています。しかも、その不安は根拠のないものではありません。と、いうのもひとつには、総務省の電波防護指針が世界標準とされている国際非電離放射線防御委員会（ICNIRP）の規制値をも上回っているからです。総務省の規制値は米国の規制値と並んで、世界で最も産業界に配慮したゆるやかな数値になっています。実質的には、規制になっていません。

また、別の不安の根拠として、欧米における規制値と総務省の規制値を比較した

とき、規制のレベルがかけ離れている事情があります。たとえば欧州評議会は、総務省が定めた電波防護指針の1万分の1の厳しい勧告値を設定しています。将来的にはさらに規制が強化される見込みです。欧州では、厳格な規制が行われているのです。

その背景には、専門家が電磁波による遺伝子毒性を指摘している事情があります。グローバル化の時代に、海外で厳しい規制が行われている以上、総務省の電波防護指針を守っていれば、安全という確証はありません。5Gを推進する空気が強くなっているかといって、人命よりもビジネス展開を最優先し、何をしてもいいということにはなりません。自社の事業を住民の生命よりも優先するのは、企業コンプライアンスに反するのではないのでしょうか。

わたしたちは、■■の屋上へ基地局を設置する計画を貴社が中止するように、強く要望します。基地局と隣接して暮らすことを嫌がっている住民がいる以上、すみやかに計画を中止するのが筋だと考えます。基地局設置計画を白紙に戻すように強くお願い申し上げます。

電磁波からいのちを守る全国ネット

運営委員・黒薺哲哉

運営委員・加藤やすこ

運営委員・星川まり

連絡先：埼玉県朝霞市岡3-27■■■

黒薺哲哉

電話：048-464-1413

メール：xxmwg240@ybb.ne.jp